

平成27年度全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果と今後の取組について【学校版】

津山市立誠道小学校

教育目標(めざす児童生徒像)

心豊かで、自ら学び、たくましく生きる児童の育成
目指す子ども像
・言える子
・聞ける子
・動ける子

今年度の指導の重点

・確かな学力と学ぶ力の育成
・コミュニケーション能力の育成
・未来を拓く力の育成
・保護者・地域との連携

調査結果について(調査結果において明らかになったこと)

【学力状況調査の結果】

全国

国語はAとBともに、県平均と比べると正答率が高く、特に選択問題の正答率が高い。
漢字の読み書きはよくできる。(読みは3問とも全員正答)
国語Bでは、目的や意図に応じ内容を整理して記事を書く問題の正答率が低い。
算数Aは県平均と比べて正答率がやや高く、小数の引き算や異分母分数の引き算・角度の問題はよくできている。
小数の計算はできるが、小数のしくみが半数の児童しかわかっていない。
算数Bは、県平均と比べて正答率が低い。記述式の問題で特に正答率が低く、無回答率が高い。
理科は、県平均と比べて正答率が低い。実験器具の名称を覚えていない児童が多い。

県

○国語は県平均と比べるとかなり高く、漢字の読み書きでは、8問中3問が全員正答している。
○社会は県平均より上回り、観点別にみると、「社会的な思考・判断・表現」においては、特にかなり上回っている。
算数も県平均よりかなり高く、「数と計算」、「量と測定」の領域では特に良い成果が出ている。
理科の正答率は、教科全体としては県平均よりかなり高く、21問中7問が全員正答している。

【学習状況調査の結果】

全国

基本的な生活習慣がよく身につけていて、自己肯定感や規範意識が高い。
保護者や地域が協力的で、学校や児童のことに関心を持っている。
学校に行くのは楽しいし、仲間と共に活動することに成就感・達成感を感じている。
学習の目標やまとめが明示され、ノートにも記録している。
家庭学習で宿題は必ずするが、予習や復習はあまりしていないし、自分で計画を立てて勉強したと答えた児童が少ない。
テレビ、ゲームをする時間が全国と比べてやや多い。
図書室や図書館を利用している児童の割合は高く、半数の児童が1日に30分以上読書している。

県

地域の行事にもよく参加していて、近所の人にもよくあいさつをしている。
新聞やテレビのニュースに関心がある。
国語の勉強は好きで、内容もよくわかると答えているが、読書が好きな生徒の割合が低い。
「学校の授業の復習をしている」「苦手な教科の勉強をしている」と答えた生徒の割合が高く、「テストでまちがえたところを後で勉強している」と答えている。

成果と課題

睡眠時間・テレビやゲームの時間など、家庭での生活が安定している。
自己肯定感や規範意識が高い。
学校をあげて読書の取り組みを進めた結果、学年必読書を読む児童が増えつつある。
家庭学習ではほとんどの児童がきちんとしているが、内容についてはまだまだ工夫が必要である。
「家での勉強の進め方」(家庭に配布)に各学年の勉強時間も明記したことで少しずつ意識が高まっている。
各学年で身につけることは確実に定着させ児童が興味を持って取り組めるような魅力的な授業作りをする。
国語・算数とともに、基礎・基本的な知識・技能はあるが、活用型の問題を苦手としている。
長い文章を読むことに抵抗があり、文意を汲み取りながら読むこと、目的や意図に応じて複数の内容を関連づけて読むこと、文章の構成を考えながら読むことができていない。
目的や意図に応じて必要な内容を適切に書くことができない。

課題に対応した改善方法

家庭のルール(ノーマディアの取り組み等)を決め、勉強時間が確保できるようPTAと連携して取り組む。
新聞や新しい文章に触れる機会を授業で増やし、要旨をまとめる活動を取り入れる。
課題に対して、自力解決のための時間を確保し、自分の考えを説明したり、まとめたりするなどの書く活動を取り入れる。
授業中の発表の際、自分の言葉で説明させたり、話し合いの時間を意図的に作ったりする。(ペアグループ 学級全体へ、学活の活用)
学力・学習状況調査の問題(特にB問題)を授業中や週末の課題等で活用するなど、積極的に取り組む。
到達度確認テスト等を活用し、繰り返し授業や家庭学習等で復習する。
学力支援が必要な児童に対しては、放課後の補充学習を週2回行い、基礎学力の向上と定着を図る。
家庭学習に発展的な内容や授業に関連した予習・復習にも取り組むよう、自主学習を奨励する。
個人用辞書の活用や音読会などにも取り組む。
理科・社会科は実験機器や資料等の活用を重視した授業改善をし、週末課題等で復習に重点を置く。

取組の検証方法及び検証時期

学力定着状況テストの実施(2月)
児童への学習・生活アンケート実施(学期1回)
授業評価ノートの活用(学期1回)
読書数調査(毎月)

平成28年度津山市達成目標に対する具体的な目標(数値目標等)

3年生以上は全員が自主学習ノートをもち、家庭学習等で自主的に取り組む。
日々の読書を「読書カード」に記録し、「おすすめ本20冊」では低・中学年は20冊、高学年は10冊を全員読む。
全学年到達度確認テストと過去問の完全実施(3月末まで)